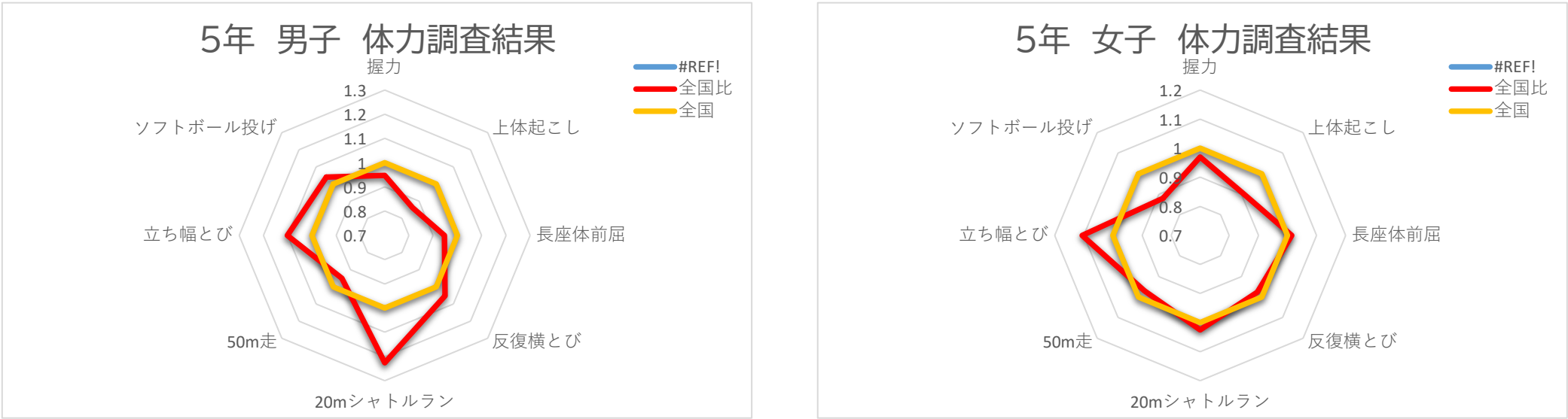
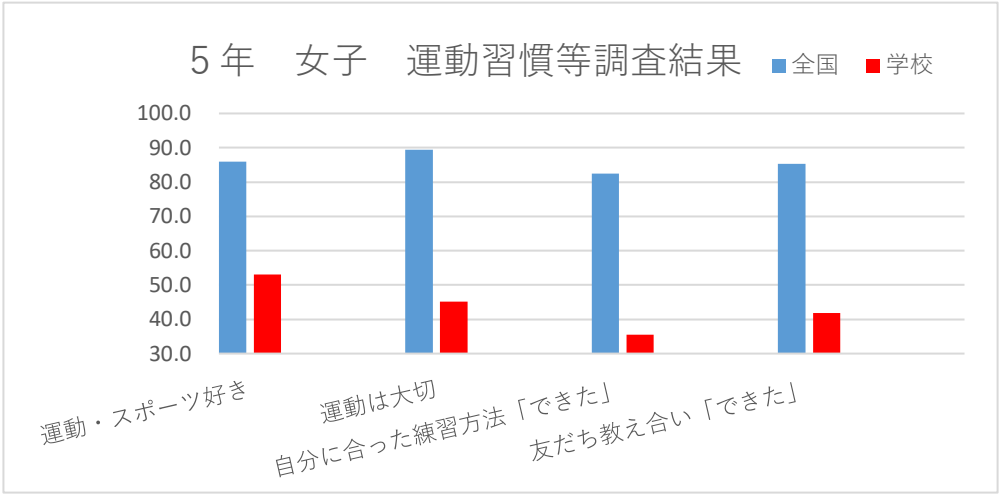
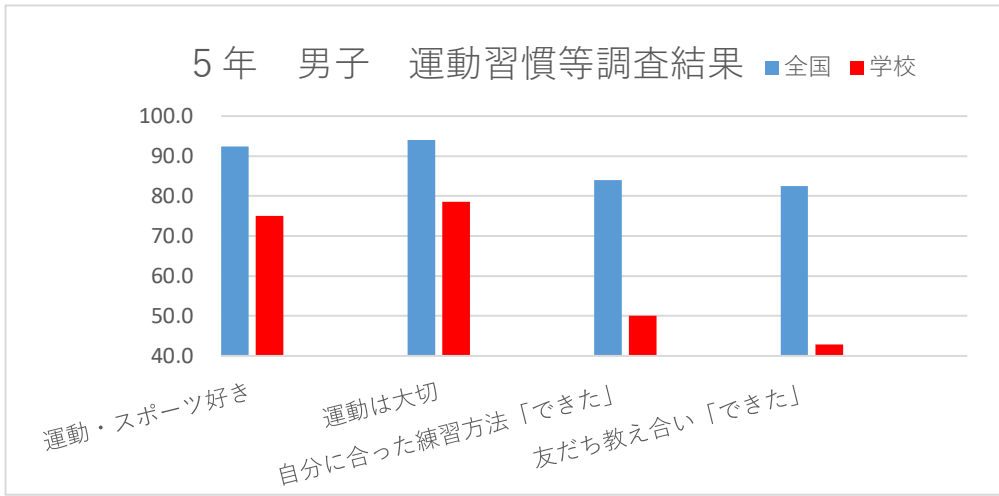


1. 現状（令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果より）



※全国の平均値を1として、学校の比を示しています。



※「運動・スポーツが好き」「運動は大切」「体育の授業は楽しい」については、肯定的な回答の割合を示しています。

2. 改善プラン

① 現状と課題

①全体として、高い数値を示している。②男子は、長座体前屈、反復横跳びの数値が低いので、俊敏性・柔軟性を高める運動を、日ごろから意識的に取り組んでいく必要がある。③アンケートにおいて、女子の結果が全体的に低く、気になるところである。運動やスポーツの楽しさを伝えられるような授業を展開していく必要がある。

② 目標・めざす子ども像

体力・健康・食の安全を意識し、自己調整しながら、たくましく生きぬく児童の育成

③ 取組み

取り組み内容	対象学年	取組時期	元気力としての観点			
			体力	保健	生活習慣	食育
校内マラソン大会、なわとび大会	1～6年生	1月	○	○	○	
なわとびの取り組み	1～6年生	2月	○	○	○	
新体力テスト	1～6年生	5月	○	○	○	
校内研修及び提案授業の公開	0	学期に1回	○	○		
給食の取り組み	1～6年生	学期に1回			○	○
環境整備	0	年間通じて	○	○	○	
短時間運動	1～6年生	年間通じて	○		○	